

中国の1〜3月期の国内総生産(GDP)は、前年同期比7.0%増にとどまった。リーマンショックの2009年1〜3月期以来6年ぶりの低い伸び率です。

一般的に行われる中国社会でいえる市民は「政府を信頼できない。自分の事は自分で守る」という気持ちが強いです。証券会社前では、老若男女問わず、弁当を持参して朝から一日入りびた

上海に暮らしているとまだまだ景気は底硬いのではないかと感じます。不動産売買が停滞気味になり、預金金利も低下し、資金の向かい先は、上海と香港の株式相互取引制度により中国株式市場に流れ込んでおり、過熱気味な状況です。富富の差が激しく、解雇が

上海の飲食店も活況で、私の中国人の知り合いの中にはポルシェ、ベンツ、ロールスロイスなどの高級車を購入する人がまだまだ多くみられます。その反面地下鉄や街中では昭和初期にあつたような光景の物乞いの人達が以前より多くなつたような気がします。富富の差が拡大しているように感じます。



中国国民は中国が主導するアジアインフラ投資銀行(AIIB)や欧州・アフ

経済のソフトランディング

リカまで陸と海で結ぶシルクロード構想に今後の中国のあるべき姿に大きく期待しています。

習近平指導部

は今年の成長目標を7%前後のニューノーマルで経済の質と効率を重視し経済運営を行い、アジアインフラ投

資銀行(AIIB)やシルクロード構想による近隣諸国を巻き込んだ成長戦略により国内の製造業の成長喚起を促す狙いがあります。多くの国民が支持する反腐敗運動と構造改革は重要課題であるが一步間違えると国内景気が一気に減速し、マグマのように諸問題がふき上がり、中国景気が

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長
松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール

ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リポーンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

減速が日本経済はもたらん世界経済にも大きく影響します。

熱しやすく冷めやすい国民気質を習近平政権がうまく利用し新常态ニューノーマルを実施する為にも景気経済のソフトランディングをうまく行うかが楽しみです。